

2011年3月期 決算説明会

2011年6月8日

リバーエレクトック株式会社

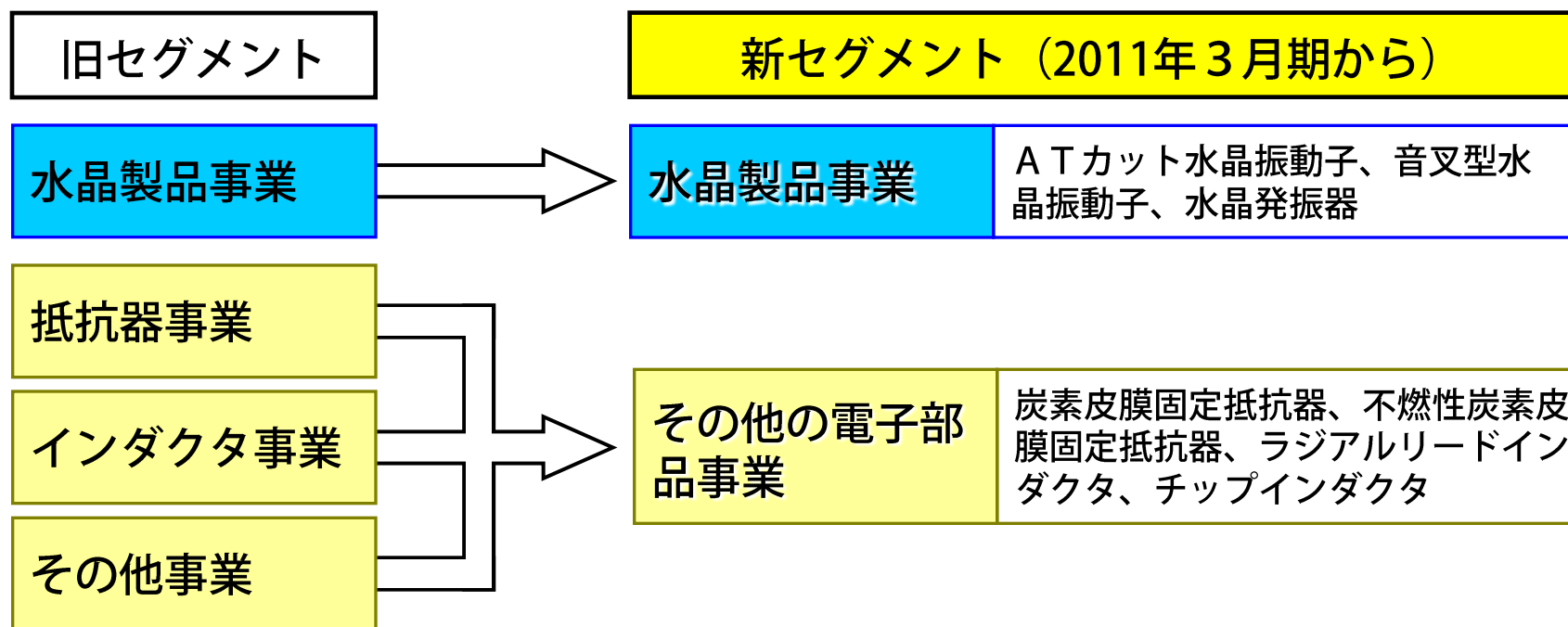
(証券コード：6666 JASDAQ)

アジェンダ

-
- 2011年 3 月期 決算概要
-
- 2012年 3 月期 通期業績予想及び背景
-
- 2012年 3 月期の重点施策
-

セグメント情報の変更について

- ◆ 当社グループは製品の種類別に国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開していることから「水晶製品事業」と「その他の電子部品事業」に報告セグメントを変更



- ◆ これまで全社セグメントとしていた当社管理部門に係る費用を各事業に売上高比率で配賦
- ◆ セグメント利益を経常利益で開示

アジェンダ

-
- 2011年3月期 決算概要
-
- 2012年3月期 通期業績予想及び背景
-
- 2012年3月期の重点施策
-

（単位：百万円）

	2010年3月期	2011年3月期					
	実 績	期初計画	実 績	対前年		対期初計画	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	5,163	6,201	5,813	649	12.6%	▲388	▲6.3%
売上総利益	315	1,209	1,362	1,046	331.9%	152	12.6%
営業利益	▲883	11	107	990	—	95	803.2%
経常利益	▲863	19	110	974	—	91	463.0%
当期純利益	▲3,486	4	90	3,577	—	85	—
E P S	▲472.95円	0.67円	12.31円	—	—	—	—

◆ 2011年3月期はスマートフォン拡大の年

- ◇ 水晶製品の携帯電話向け売上高は、前年同期比150%超

◆ 売上高は5,813百万円（前年同期比12.6%増）

- ◇ 主力事業である水晶製品事業は、前年同期比14.3%増の5,604百万円
- ◇ 超小型音叉型水晶振動子が好調に推移

◆ 販売数量の増加に伴う増収と原価低減効果により黒字転換

- ◇ 営業利益は107百万円（前年同期は883百万円の営業損失）
 - ⇒ 売上高原価率は前年同期比17.3ポイント改善
 - ⇒ 売上高販管費率は前年同期比1.6ポイント減少（金額ベースでは55百万円増加）
- ◇ 経常利益は110百万円（前年同期は863百万円の経常損失）
- ◇ 当期純利益は90百万円（前年同期は3,486百万円の当期純損失）

◆ 配当金は3期ぶりの復配

- ◇ 期末配当3円（年間配当3円）

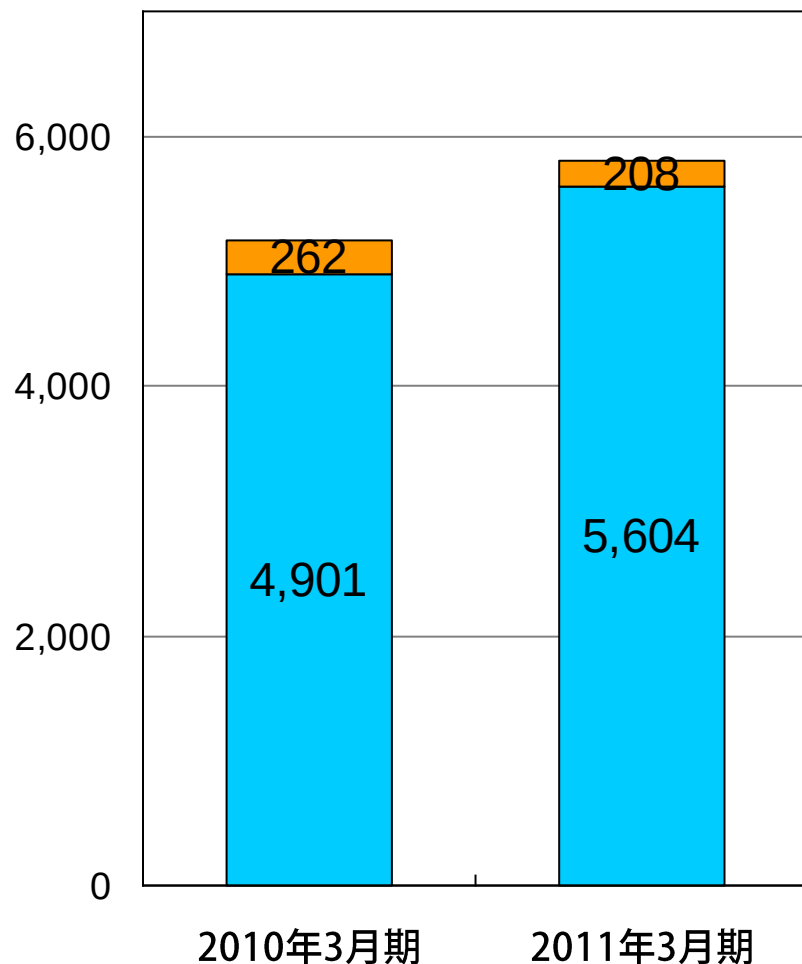
◆ 東日本大震災による影響は限定的

- ◇ 2011年3月期に与えた影響は地震直後の停電による仕掛品の損害のみ
- ◇ 施設、機械設備等に与えた影響はなし

報告セグメント別収益グラフ

売上高

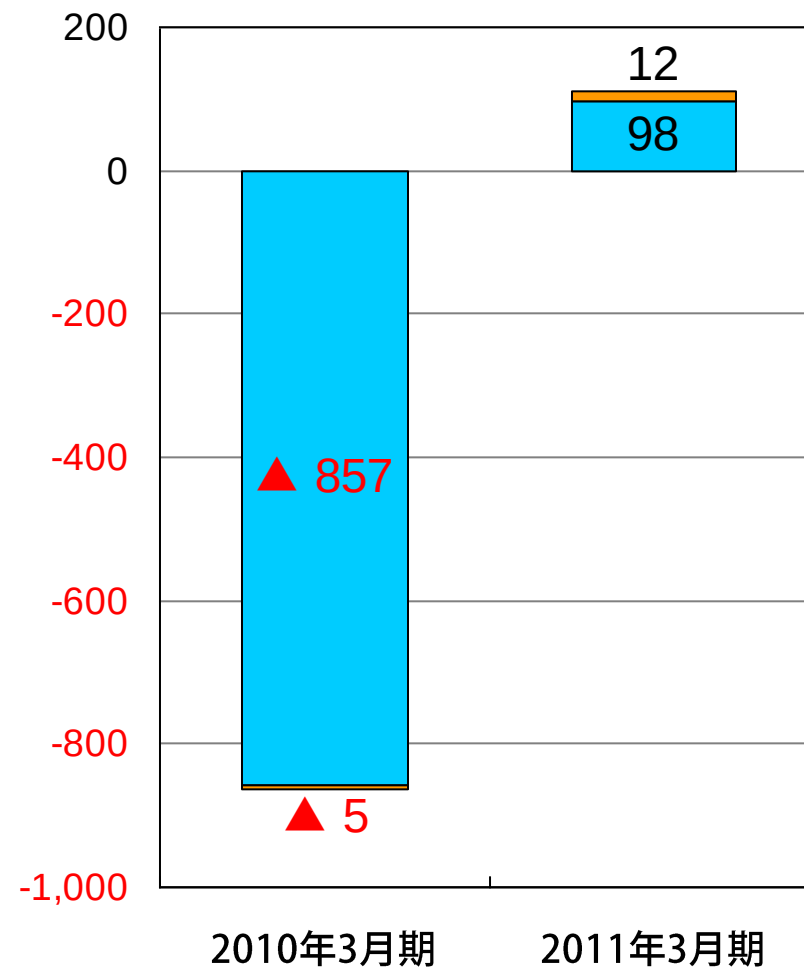
(百万円)



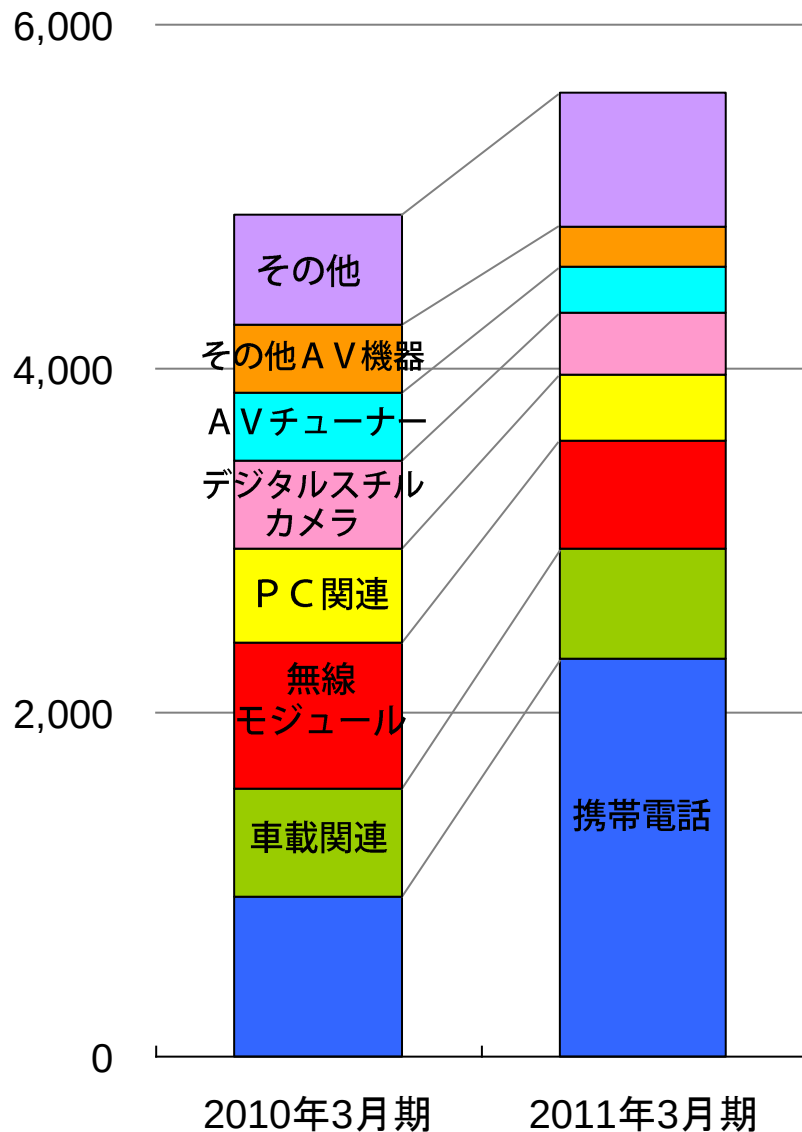
■ 水晶製品事業 ■ その他の電子部品事業

セグメント利益

(百万円)



※2011年3月期は2011年3月期報告セグメントに置換えた金額です。



携帯電話はスマートフォン向け、音叉型水晶振動子が好調

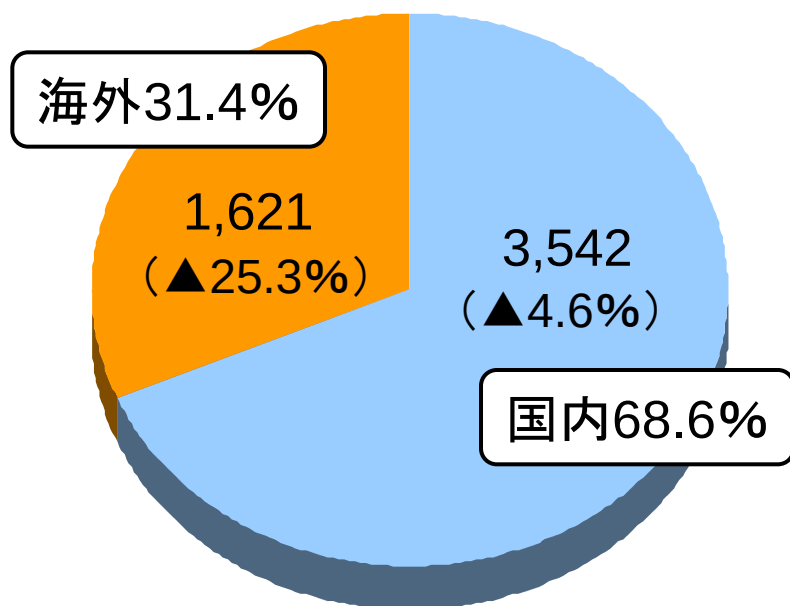
無線モジュール向けはゲーム機器向けが不調

売上高構成比

アプリケーション	2010年 3月	2011年 3月
■ 携帯電話	18.9%	41.3%
■ 車載関連	12.9%	11.5%
■ 無線モジュール	17.3%	11.1%
■ PC関連	11.1%	6.8%
■ デジタルスチルカメラ	10.4%	6.5%
■ AVチューナー	8.2%	4.8%
■ その他のAV機器	8.1%	4.0%
■ その他	13.1%	14.0%

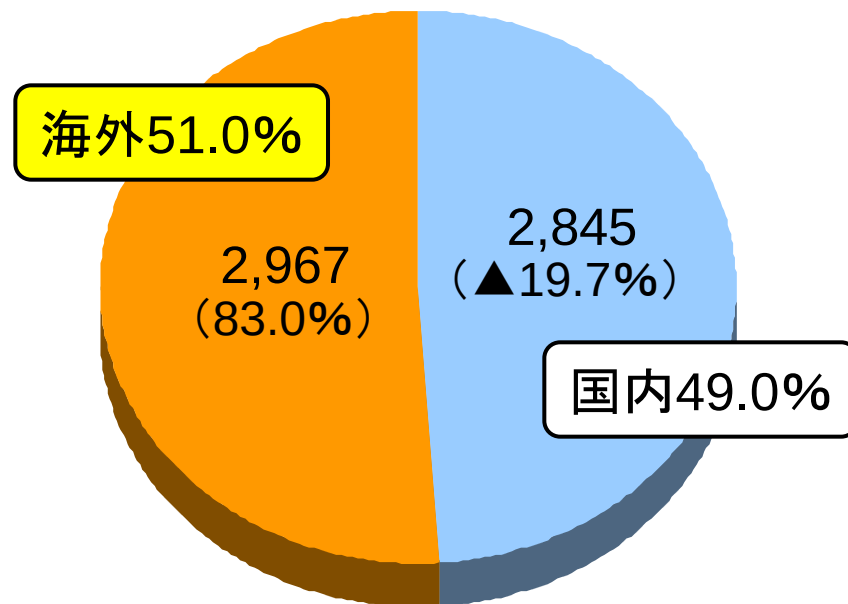
2010年3月期

■ 日本 ■ 海外



2011年3月期

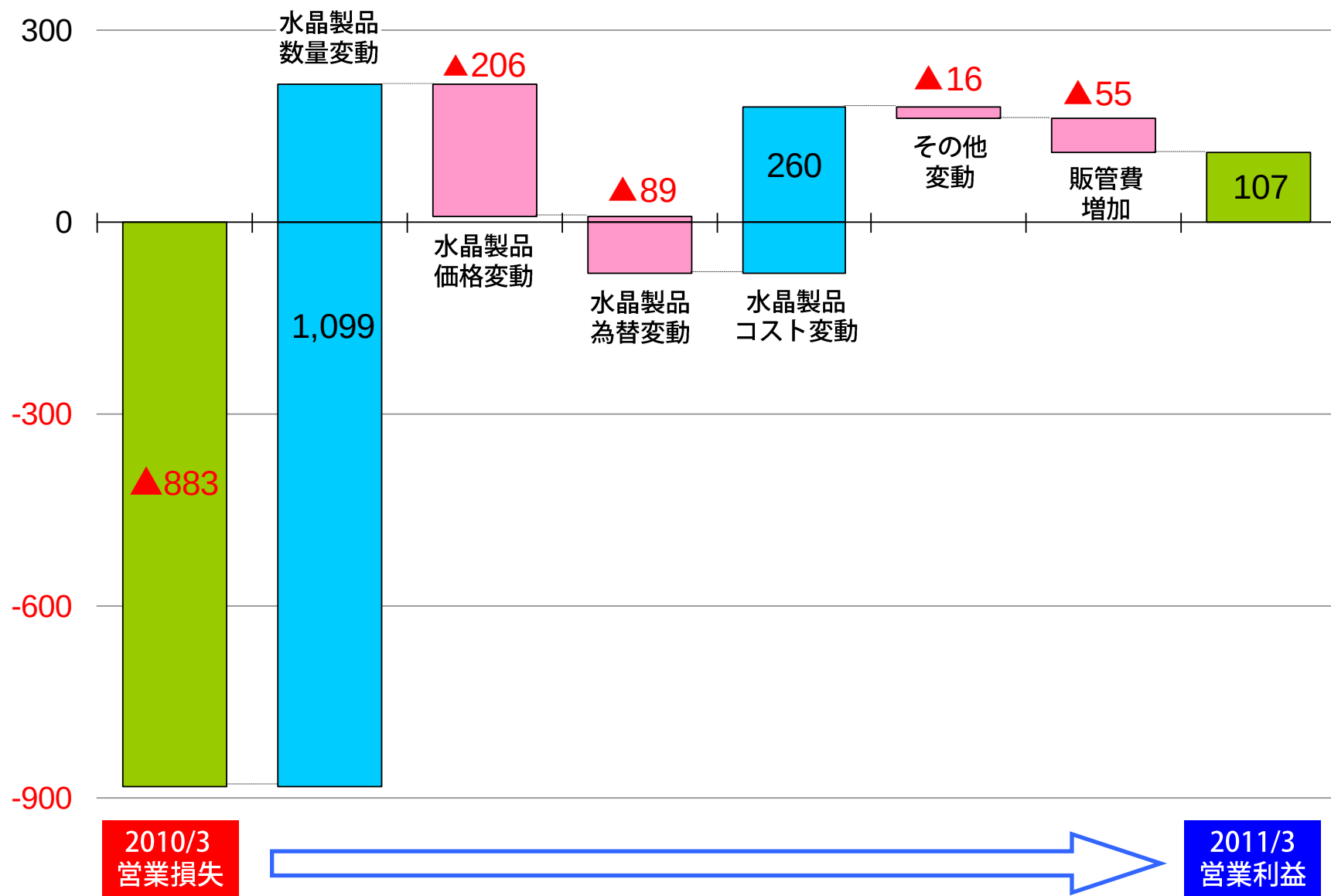
■ 日本 ■ 海外



単位：百万円、（ ）は対前年増減率

営業利益の増減要因

(百万円)

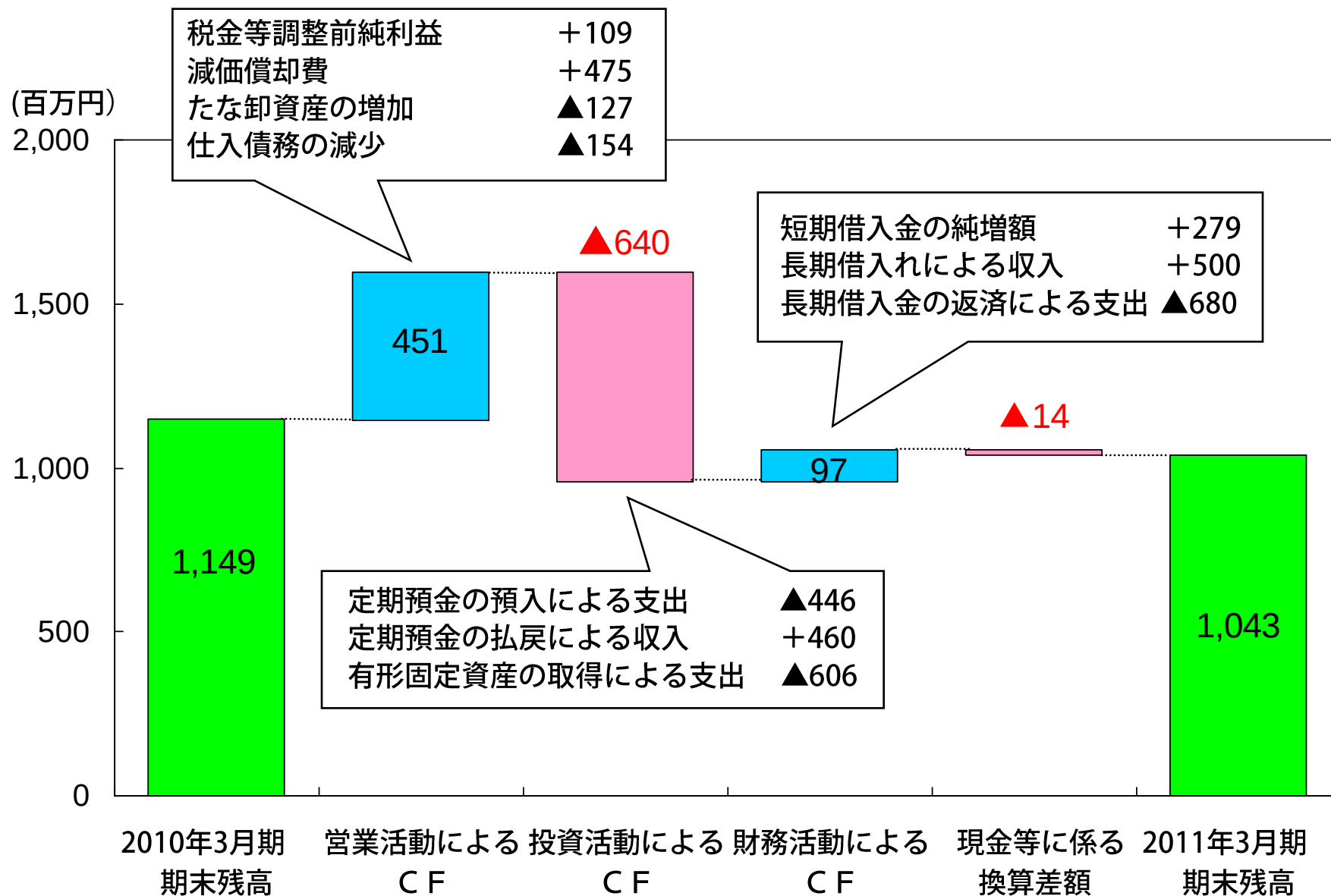


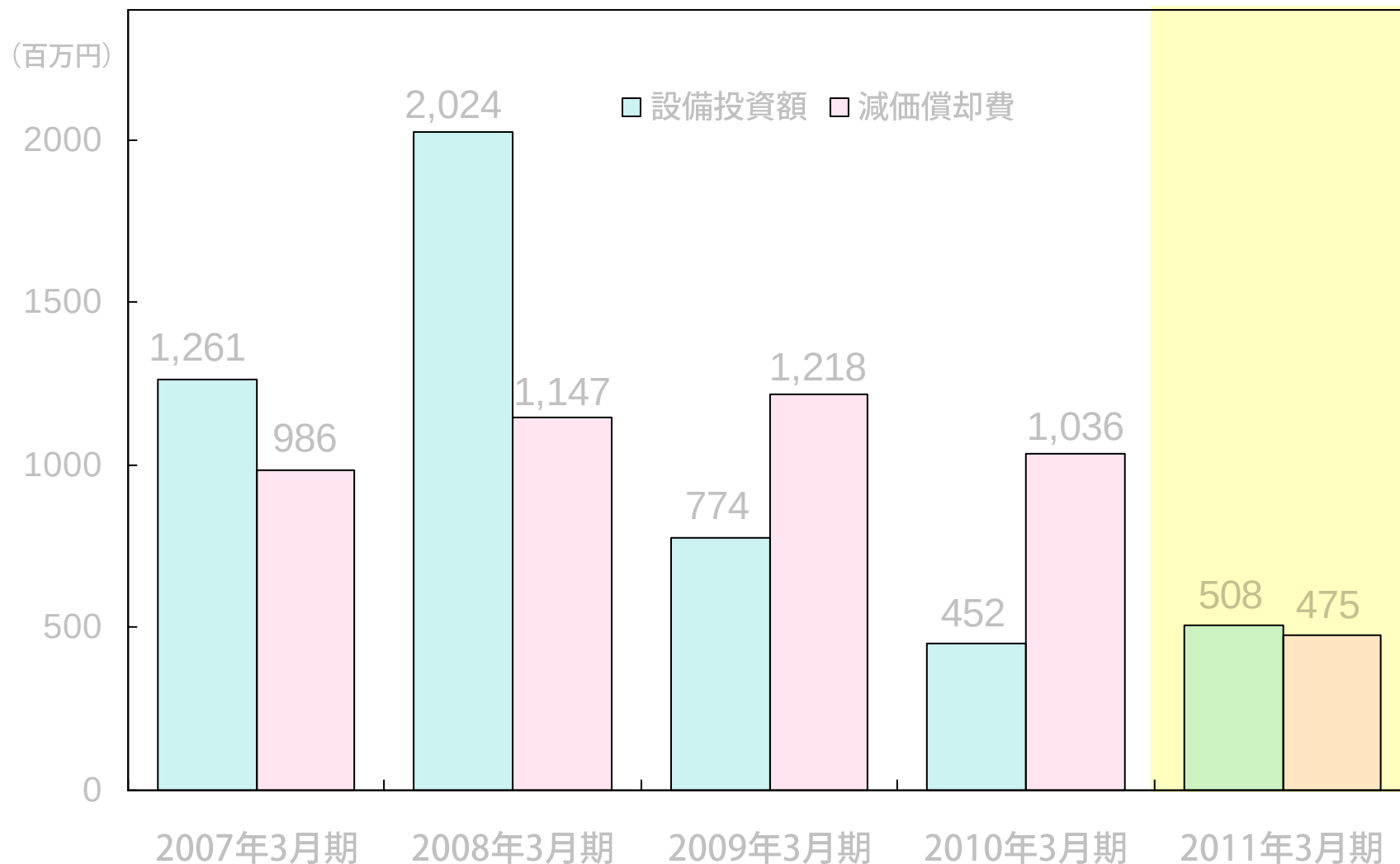
連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2010年3月期	2011年3月期	増減額	増減要因
流動資産	4,347	4,301	▲46	現預金▲148、売上債権▲44、たな卸資産119
固定資産	3,138	3,133	▲4	有形17、無形▲5、投資その他▲16
繰延資産	3	—	▲3	
資産合計	7,490	7,435	▲55	
流動負債	2,754	2,741	▲13	仕入債務▲186、短期借入(1年込)188
固定負債	1,548	1,549	0	長期借入金▲90、退職給付引当79
負債合計	4,303	4,290	▲12	
純資産合計	3,186	3,144	▲42	利益剰余金90、評価・換算差額▲83、少数株主持分▲49
負債、純資産合計	7,490	7,435	▲55	

連結キャッシュ・フローの状況





アジェンダ

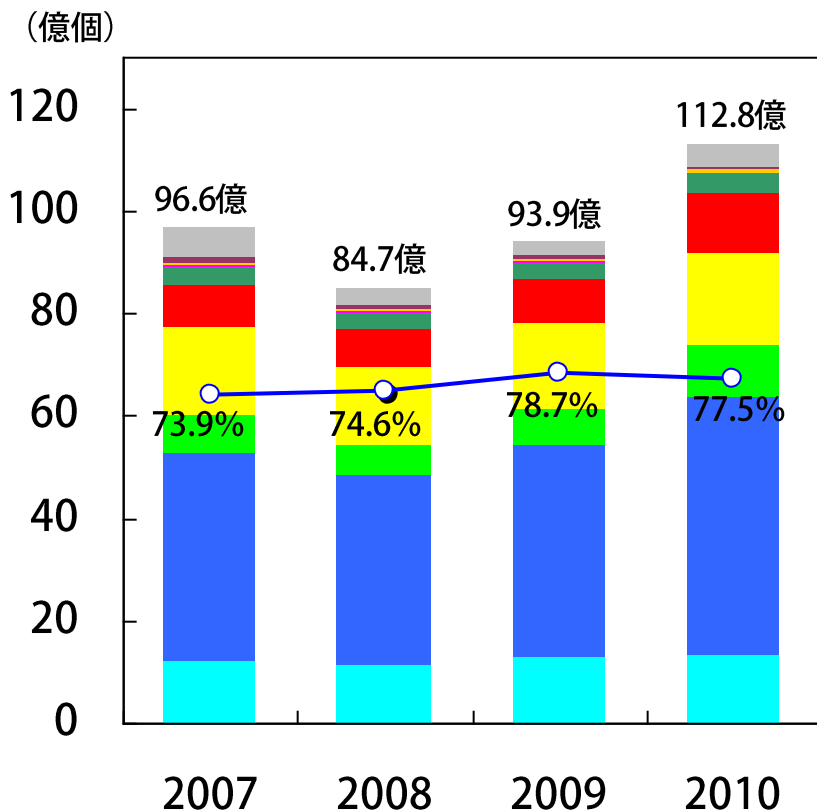
- 2011年3月期 決算概要
-

- 2012年3月期 通期業績予想及び背景
-

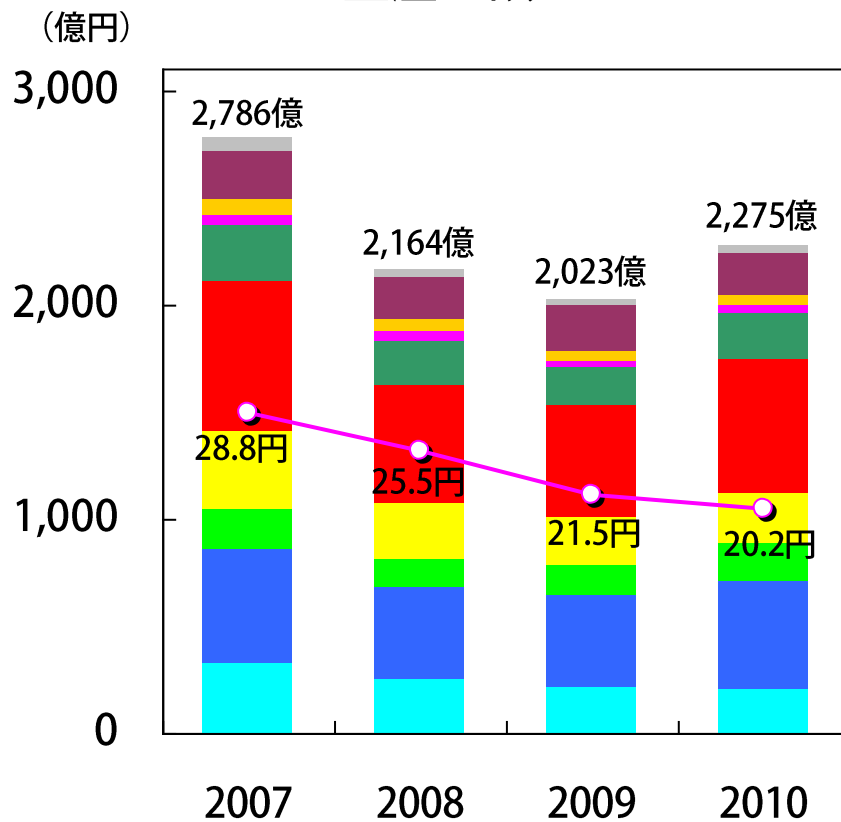
- 2012年3月期の重点施策
-

生産数量112.8億個（前期比120.1%）/生産金額2,275.0億円（前期比112.5%）

生産数量

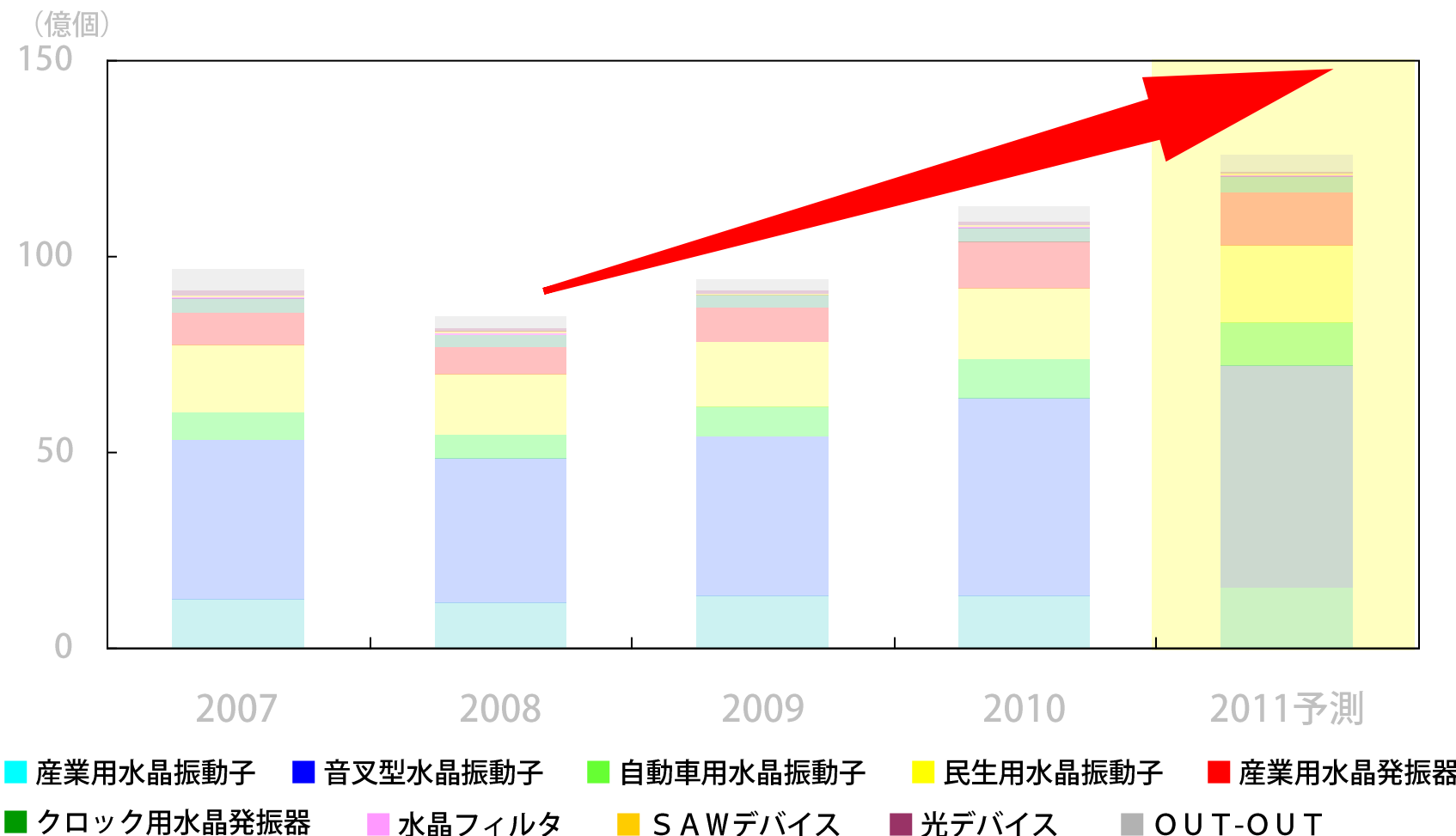


生産金額



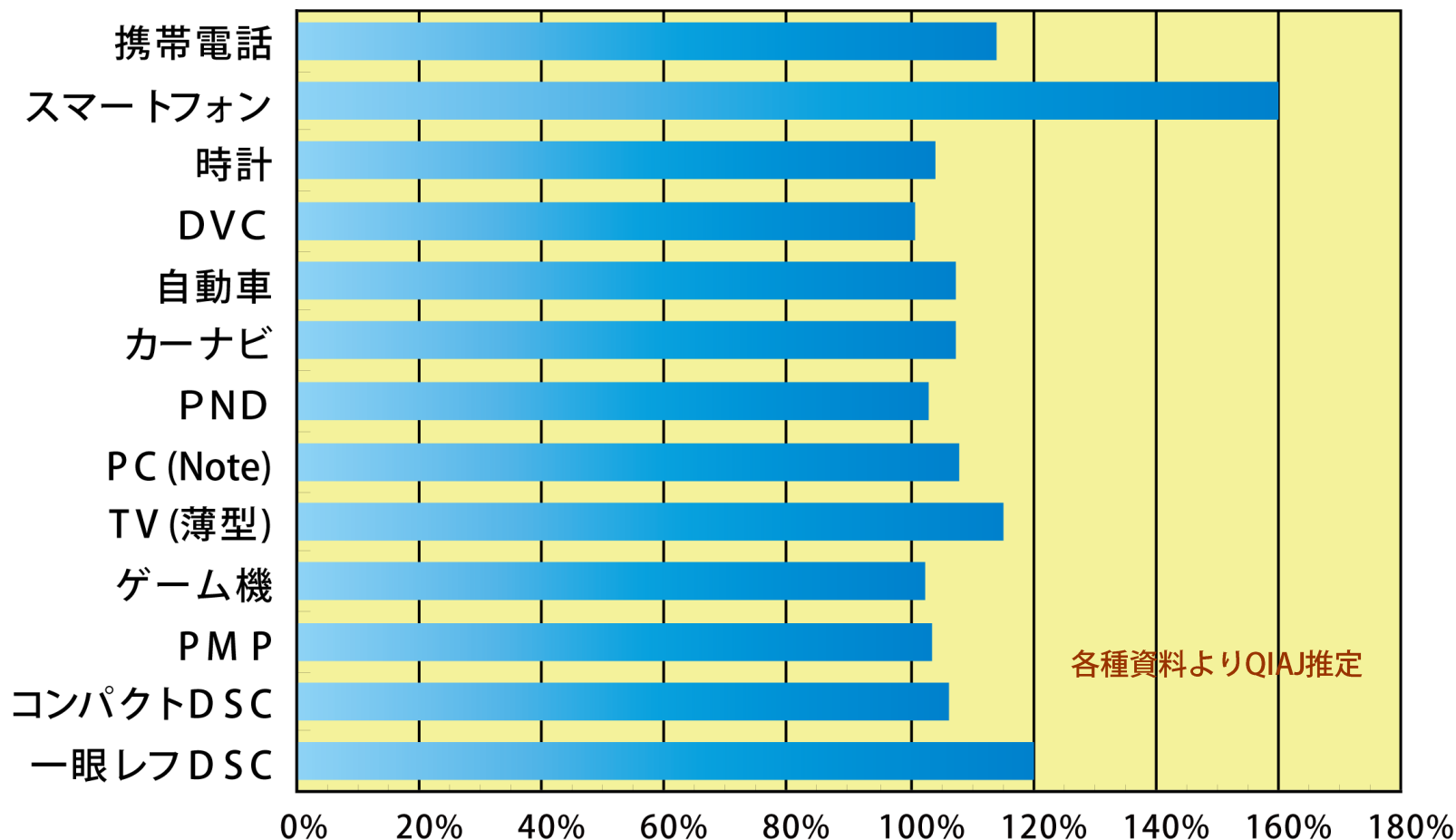
■ 産業用水晶振動子
 ■ 音叉型水晶振動子
 ■ 自動車用水晶振動子
 ■ 民生用水晶振動子
 ■ 産業用水晶発振器
 ■ クロック用水晶発振器
■ 水晶フィルタ
■ SAWデバイス
■ 光デバイス
■ OUT-OUT
—●— SMD比率
—●— 平均生産単価

2011年度予測 生産数量125.8億個（前期比111.6%）



※東日本大震災による①部材調達や電力供給の影響②水晶以外の電子部品等による
セット機器の生産調整の影響は織り込んでいない。

主要製品はプラス成長、特にスマートフォンが牽引



備考：携帯電話（含データカード）、PC（含ネットブック）、PMP（PAP含む）、ゲーム機（据置き型・携帯型）

※東日本大震災による①部材調達や電力供給の影響②水晶以外の電子部品等による
セット機器の生産調整の影響は織り込んでいない。

2012年3月期 通期業績予想（連結）

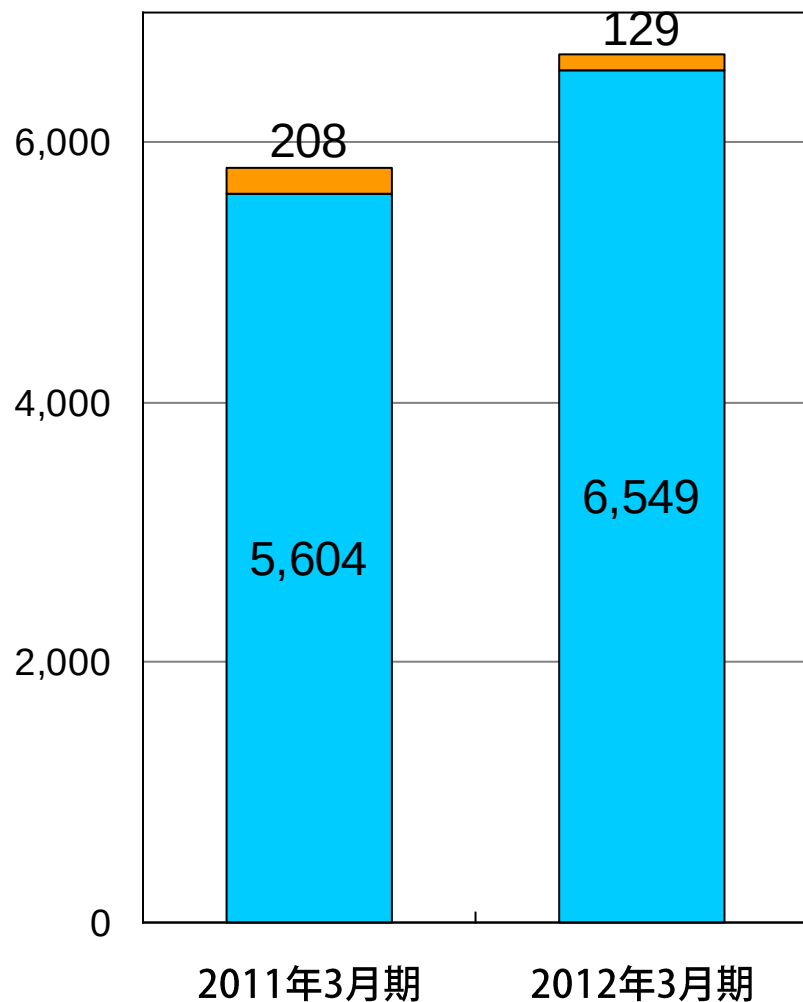
（単位：百万円）

	2011年3月期		2012年3月期 業績予想			
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期 増減額	前年同期 増減比
売上高	5,813	100.0%	6,679	100.0%	866	14.9%
売上総利益	1,362	23.4%	1,533	23.0%	171	12.6%
営業利益	107	1.9%	225	3.4%	117	109.0%
経常利益	110	1.9%	206	3.1%	95	85.9%
当期純利益	90	1.6%	197	3.0%	106	117.7%
E P S	12.31円		26.8円		—	—

- ・ 2012年3月期計画為替レート 1ドル=83円
- ・ 為替影響額 1円円高につき、売上高約1,500万円のマイナス、利益約400万円のマイナス
- ・ 東日本大震災の影響については現段階では限定的と判断している。ただ、今後のセクターメーカー等の動き次第では大きく変動する可能性もある。

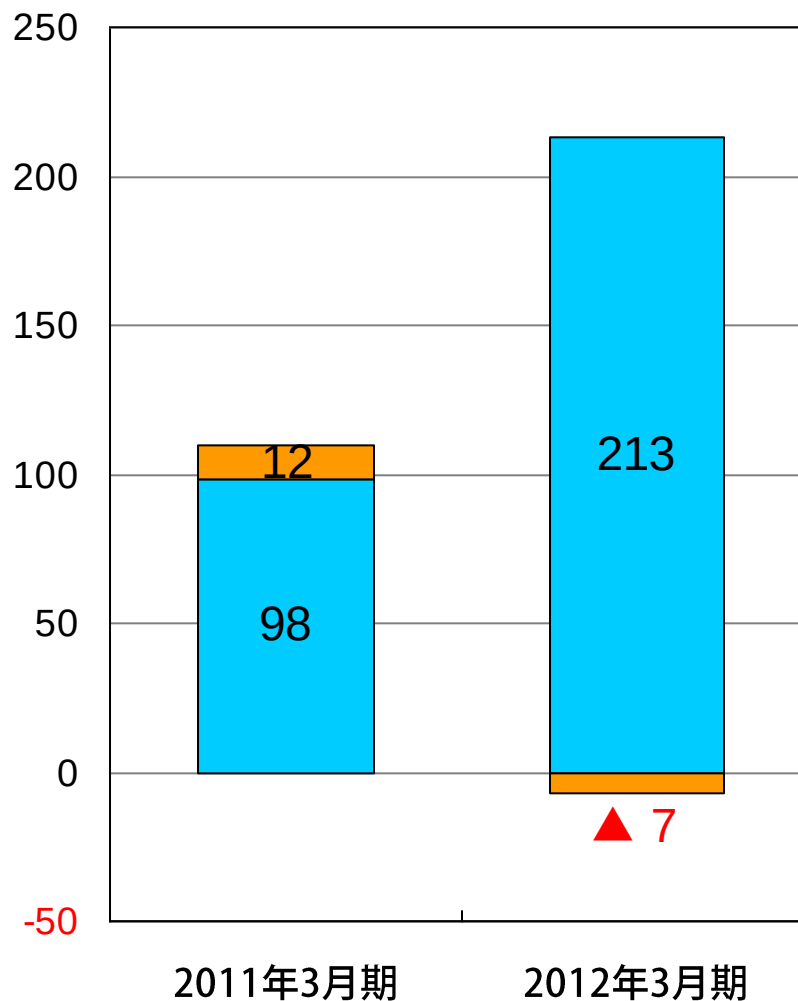
売上高

(百万円)



セグメント利益

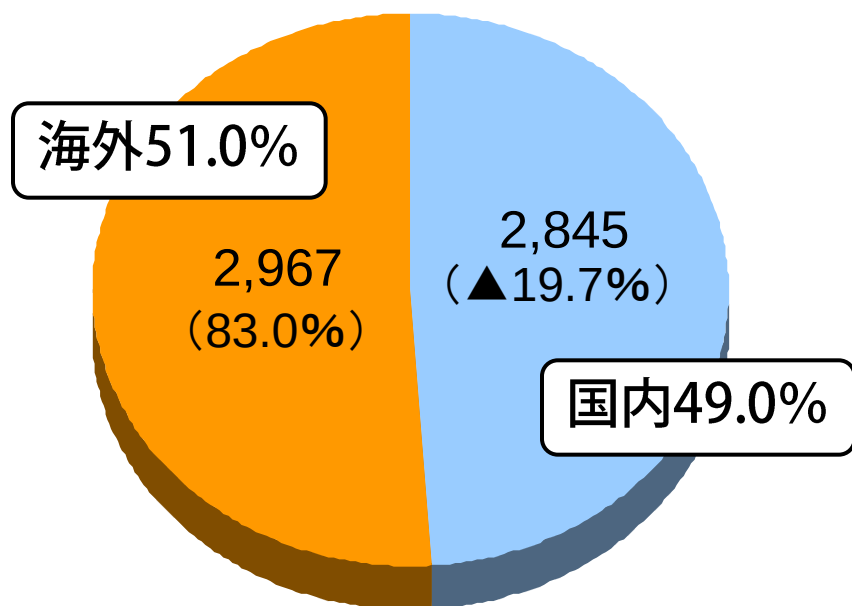
(百万円)



■ 水晶製品事業 ■ その他の電子部品事業

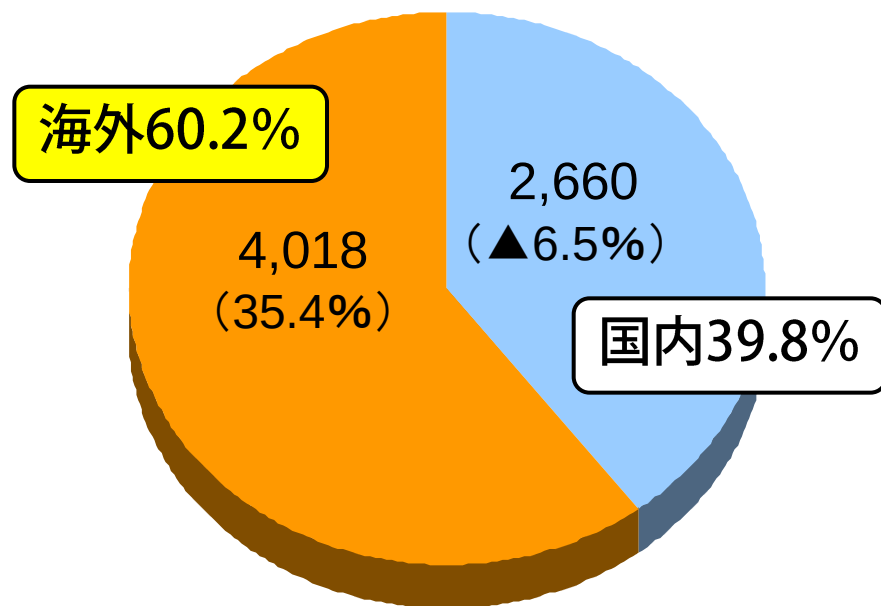
2011年3月期

■ 日本 ■ 海外

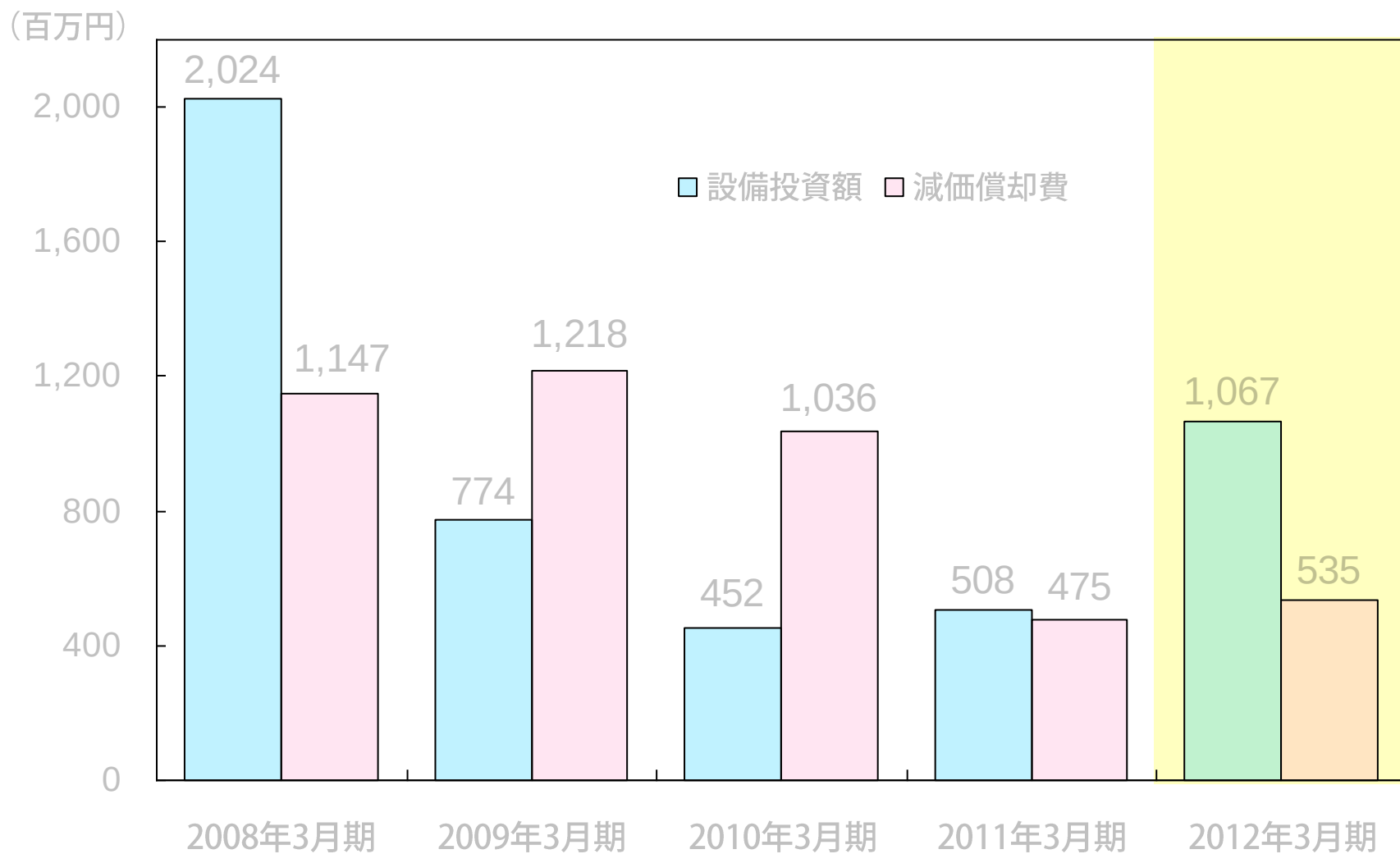


2012年3月期

■ 日本 ■ 海外



単位：百万円、（ ）は対前年増減率



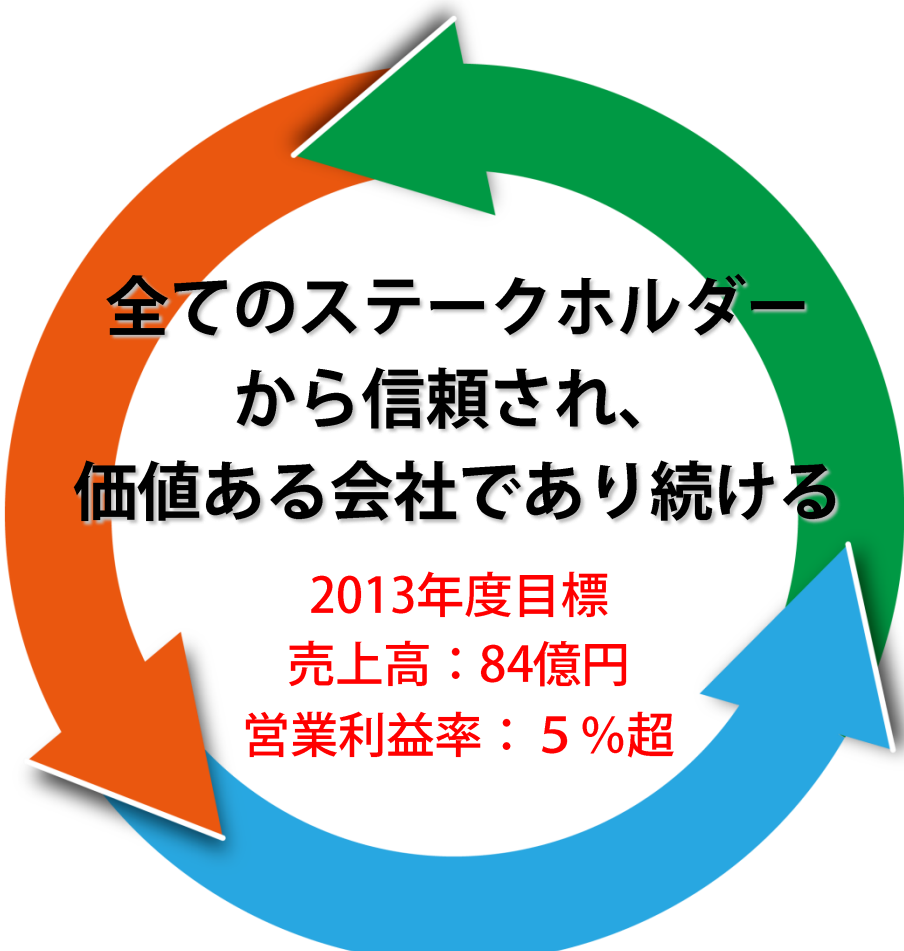
アジェンダ

- 2011年3月期 決算概要
-

- 2012年3月期 通期業績予想及び背景
-

- 2012年3月期の重点施策
-

第3次中期経営計画（2011～2013年度）を策定



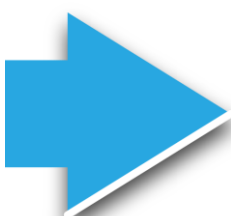
全てのステークホルダー
から信頼され、
価値ある会社であり続ける

2013年度目標
売上高：84億円
営業利益率：5%超



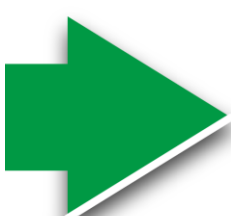
アジア地域の営業体制の
再構築と販売網の拡充

海外売上高比率を6割超に



音叉型水晶振動子
のコスト競争力強化

市場ニーズに合ったコストの見直し



経営資源の有効活用

グループの経営資源の最適配分化

◆ 西安リバーの営業基盤を強化し、販売の拡大を図る

- ◇ 中国市場を中心に海外事業の強化を引き続き継続
- ◇ 海外売上高 6 割を維持できるグローバル体制を構築していく
- ◇ 営業フォロー（管理）体制も平行して強化

当社が得意とする超小型製品を市場が求める価値で提供し、競合他社との差別化を図っていく

顧客満足の追求

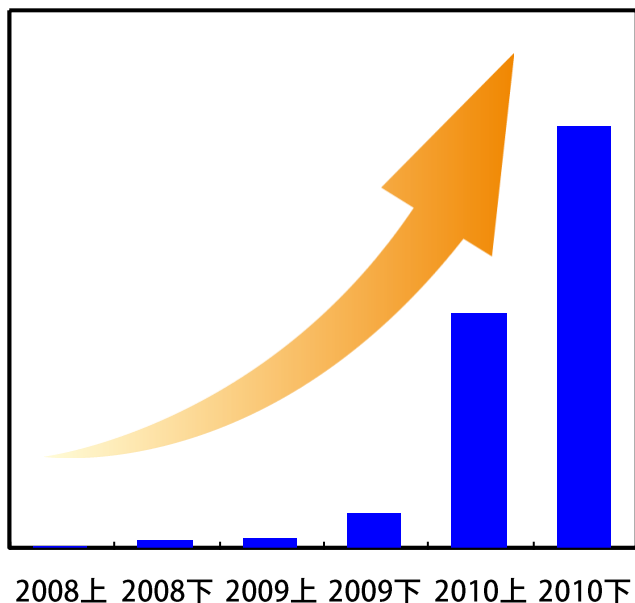
RIVER ブランドの強化



◆ 開発～生産～販売に至る全ての工程を見直し、コスト削減を図る

- ◇ 成長ドライバーである音叉型水晶振動子の競争力強化
- ◇ 市場ニーズに合った価格を出発点としてコストを見直す
- ◇ 提案型技術営業力の強化につながり、顧客満足の上昇にも貢献できる

2012サイズの販売数量推移



現状、3215サイズが携帯機器に
最も多く使用されている

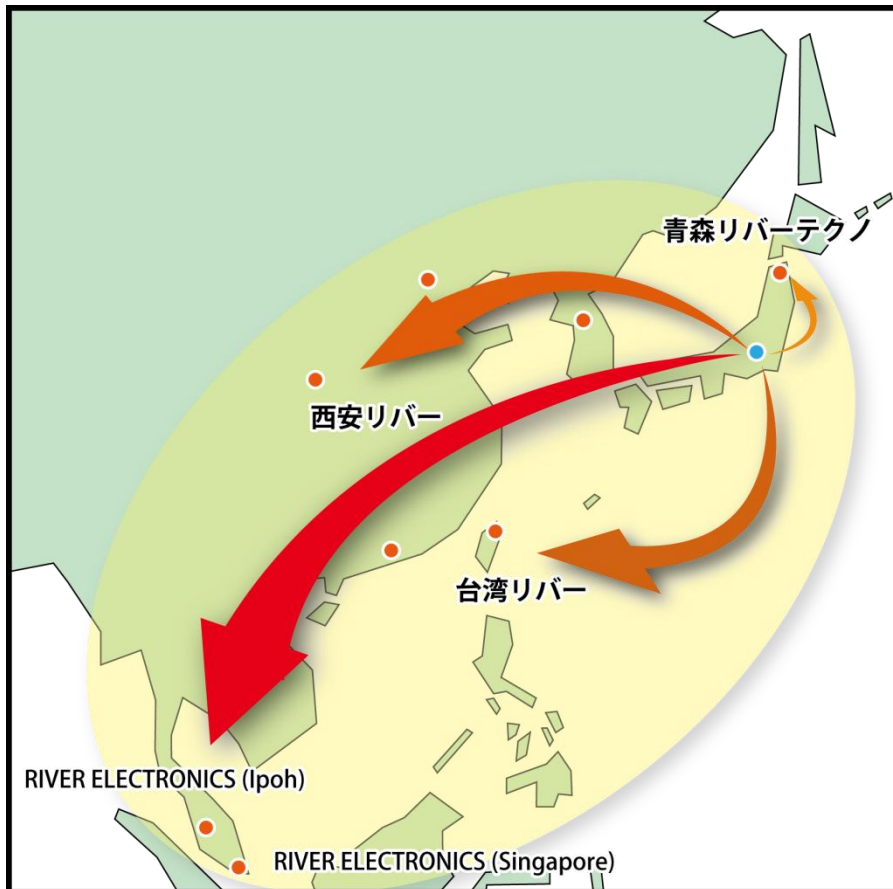
2010年度下期から2012サイズ市場が急成長



2012サイズ (TFX-03) を成長ドライバー
として経営資源を集中させる

◆ 人材、生産設備、技術等の経営資源を最適配分し、経営効率を高める

- ◇ 水晶事業のグローバル展開で生じる環境変化に対応
- ◇ グループを1つの事業体として捉え、聖域なき変革を実施していく
- ◇ 投資については成長の見込める分野に重点的に行っていく



各グループ間のシナジー効果
により新たな価値を創出する

生産体制については
災害リスク軽減化も含め
最適配分化を推進

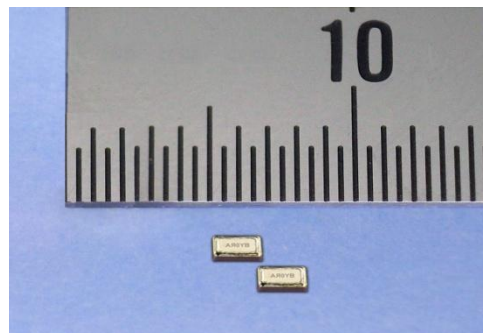
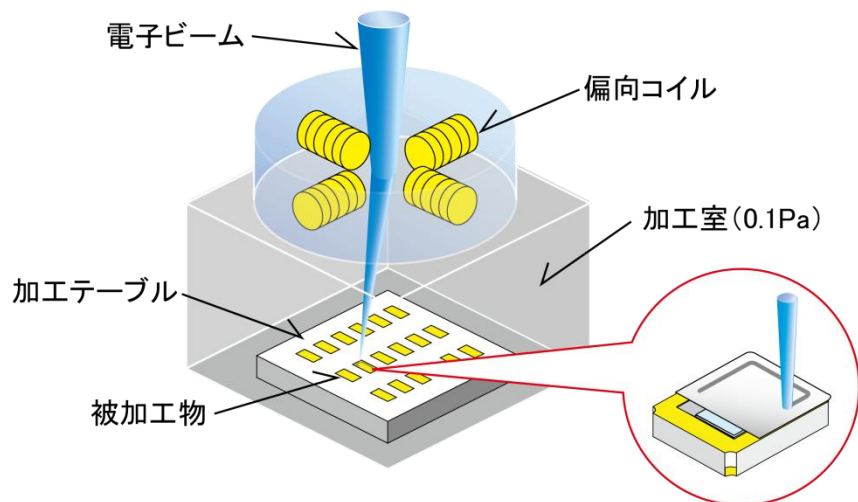


◆ 独自技術による製品開発で優位性を持った製品を創出する

- ◇ リバーグループの企業価値である「小型・高品質・高信頼性」において、他社に対して優位性を持つ強い製品の創出を推進する
- ◇ コア技術である電子ビーム封止工法を進化させ、小型化の限界に挑戦する

電子ビーム封止工法

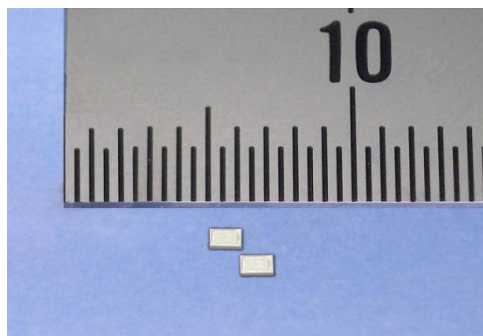
セラミックパッケージのなかに水晶片を取り付けた後、金属蓋を電子ビームで溶融接合する気密封止工法。従来からある一般的な封止工法よりも製品の小型化が可能となっている。また、局所加熱による水晶片への熱ダメージの抑制、真空封止による信頼性等優れた点が多く、低コスト化も実現している。



世界最小サイズ
音叉型水晶振動子

TFX-04

1.6mm × 1.0mm × 0.45mm typ.



世界最小サイズ
ATカット水晶振動子

FCX-08

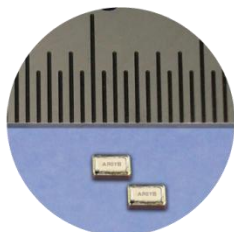
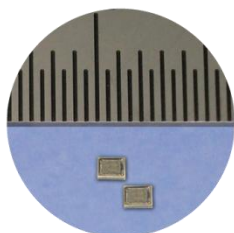
1.2mm × 1.0mm × 0.3mm typ.

提案営業を展開し、サンプル対応中

◆ 成長市場へ効果的な営業活動を推進し、シェアを拡げる

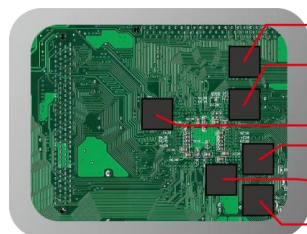
- ◇ 携帯端末における水晶デバイスの需要数量は、2013年に42億個超を予想
- ◇ 携帯端末の高速通信化、高機能化、省電力化に伴い小型で高精度、低消費電力の水晶デバイスが求められていく

世界最小サイズ
ATカット水晶振動子
FCX-08



世界最小サイズ
音叉型水晶振動子
TFX-04

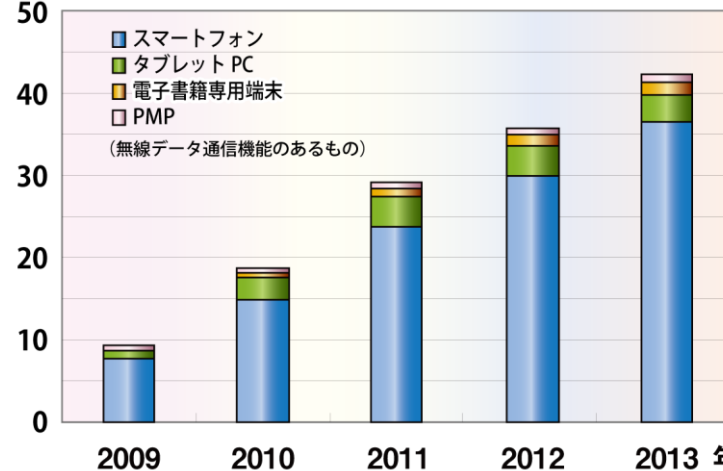
携帯端末に搭載されている水晶部品の一例



- 音叉型水晶振動子（電源管理クロック用）
- 音叉型水晶振動子（ベースバンドクロック用）
- 水晶振動子（プロセッサクロック用）
- 水晶振動子（Bluetooth/ 無線 LAN 用）
- 水晶発振器（RF 用）
- 水晶発振器（GPS 用）

*写真はイメージです。

億個 携帯端末に搭載される水晶デバイス需要数量予測



配当性向

連結当期純利益の20%

成長を支える研究開発及び
設備投資のための内部留保

総合的に判断

2012年3月期 配当予想

第2四半期期末：1円

期 末：4円

年 間：5円

全てのステークホルダーの信頼に
応えられるよう努力を重ねてまいります

《注意事項》

本説明会にて提供した情報につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。



リバーエレテック株式会社
(JASDAQ、証券コード6666)
<http://www.river-ele.co.jp/>
総務部経営企画課
T E L 0551 (20) 1277